



LAC (国際教養コース・類型) Newsletter No.4

Hyogo Prefectural Takarazuka Nishi Senior High School July 15th, 2026

2-6 LAC 特別講座

7月14日(火)1、2時間目、2-6の生徒たちが神戸女学院大学の北川将之教授の特別講座を受けました。「存在しない子どもたち」というテーマで学びました。これまで知らなかったことも多く、またとても重たいテーマでしたが、真剣に話を聞き、ワークに取り組んでいました。

まず、人間開発とは、ということで、貧困の定義を考えました。所得や食糧だけでなく、自由の欠如としての貧困があり、人間が持っている力を十分に発揮するには、健康、教育、所得の三側面でさまざまな条件が満たされる必要があることを知りました。



とくに焦点を当てて考えたのが「子ども」で、幼少期の保護がその後の人生全体に大きな影響を与えることを学びました。栄養失調、育児放棄、虐待など健康面での保護がないと、学習能力が発達しなかったり、人格形成が遅れるといった教育面に影響が及び、さらには低所得労働や貧困といった所得面にも影響が出るとのこと。そしてこの連鎖は親から子に、さらには孫にという世代を超えた負の連鎖につながる可能性もあるということでした。



1時間目の後半からケーススタディとして、メキシコ先住民、フランス移民のこどもの映像を見ました。2時間目には別のケーススタディで、世界最貧国の一つであるハイチのこどもの映像を見てから、最後にネパール母の家の活動の映像を見ました。

どの映像も、今の私たちの生活からはとても想像できない世界での出来事で、心の痛む内容でしたが、先生は「子どもは保護されるべき存在で、親を含めて、子どもを取り巻く地域、国家が支援体制を整えていかないといけない」と何度もおっしゃっていました。



生徒たちが個人でワークシートに記入していきながら、先生との対話を通して考えをまとめ、これまであまり触れてこなかった問題について考察できたのは、とてもいい経験になったのではないのでしょうか。

世界にいる一人でも多くの子どもが、生まれ育ちでの差別なく、教育、所得、健康面で心配することなく、幸せに過ごすことができるように、私たち一人ひとりにできることは何かを考えて実行していきたいなと思います。